

## 令和2年度 農業科（資源動物科）

教科	農業	科目	農業と環境	単位数	4単位	年次	1年次
使用教科書	「農業と環境」（農文協）						
副教材等	「畜産」（実教） ※購入済み						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

これから高校で学ぶ教科「農業」の基礎的な科目です。農業と環境のかかわりや農業の役割、農業生物の栽培・飼育について、座学・実習・ワークショップ等を通して、科学的な考え方や知識・技術を身に付けます。実習では「家畜」・「作物」をよく観察し、積極的に取り組みましょう。

## 2 学習の到達目標

- ・農業及び環境についての興味・関心を高める。
- ・農業に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ・科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

## 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境について興味・関心を持ち、課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境に関する基礎的な技術を身に付け、農業生物の育成と環境の保全に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境に関する基礎的な知識を身に付け、農業生物の特性と栽培・飼育環境や環境保全・創造の重要性を理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート、発表 自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

## 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	農業と環境を学ぶ	○農業と環境の学び方					a:農業と環境の学び方、農業生物の栽培について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	授業観察 ノート レポート 定期考査
		プロジェクト学習とは	○	○		○		
		学校農業クラブ活動	○	○			b:農業と環境の学び方、農業生物の栽培について、課題を見い出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。	
		GAP 学習	○			○		
	栽培の基礎	○トウモロコシ					c:農業と環境の学び方、農業生物の栽培について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。	
		性質と形態			○			
		栽培方法・収穫			○		d:農業と環境の学び方、農業生物の栽培について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
		栽培の実際	○		○	○	a:ニワトリや飼養管理の方法に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	
	家畜の飼育(養鶏)	○養鶏					b:ニワトリの飼育管理について課題を見い出しその解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる	
		ニワトリの形態や習性	○	○		○	c:ニワトリの飼育・管理について基礎的な技術を身につけ、その技術を活用している。	
	飼育・管理の基礎	生理的な特性	○			○	d:ニワトリの形態や習性・生理的特徴や飼育管理について理解し、基礎的な知識を身につけている	
		飼育・管理の方法①	○		○	○		

2 学 期	栽培の基礎	○ダイコン・ホウレン 草					a: 農業生物の栽培・飼育について 関心をもち、意欲的に学習に取 組もうとしている。	授業観察 ノート レポート 定期考査
	生産物の製 造	性質と形態	○		○	○	b: 農業生物の栽培・飼育につい て、課題を見出し、その解決 をめざして思考を深め、判断・ 表現する姿が見られる。	
		栽培方法と収穫			○	○		
		栽培の実際		○	○			
	飼育の基礎	GAP 学習	○			○	c: 農業生物の栽培・飼育につい て、基礎的な技術を身に付け、 その技術を活用している。	
		○生産物の利用						
	家畜の飼育 (養鶏)	鶏卵の生産	○		○	○	d: 農業生物の栽培・飼育につい て理解し、基礎的な知識を身に付 けている。	
		漬物の利用		○	○			
		○養鶏					a: ニワトリや飼養管理の方法・餌 作りに関心を持ち、意欲的に学 習に取り組もうとしている。	
	飼育・管理の 基礎	生産物の特徴	○		○	○	b: ニワトリの飼育管理について 課題を見出しその解決をめ ざして思考を深め、判断・表現 する姿が見ることができ、飼育 計画の作成をすることができる。	
		ニワトリの行動	○			○		
		ニワトリの育すう	○	○	○	○		
		飼育管理の方法②	○	○	○	○		
		飼料作り	○		○	○		
		飼育環境の管理と整 備	○		○	○	c: ニワトリの雛からの飼育・管理や 飼料作りの技術を身に付け活用 している。 d: ニワトリから得られる生産物やニ ワトリの雛の管理やニワトリの習 性について理解し、基礎的な知 識を身に付けている。	

3 学 期	資 源 循 環 と 環境保全	○栽培環境について				○	a:環境や農業・農村について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:環境や農業・農村について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c:環境や農業・農村を取り巻く諸課題について検討する基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d:環境や農業・農村について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 a:ニワトリの内臓器官や鶏糞堆肥作りに関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:ニワトリの飼育管理や家畜糞の処理について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見ることができる。 c:ニワトリの飼育管理や家畜粉の処理について基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d:ニワトリの消化器官や卵の形成や堆肥について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート レポート 定期考査
		土壌の構造				○		
		土壌の三相分布				○		
	私たちの暮らしと農業・農村	堆肥利用(循環農業)	○		○	○		
		GAP 学習	○			○		
		○暮らしと農業・農村						
		人間と植物・動物との	○	○		○		
		かかわり						
		農業・農村の役割		○		○		
		多面的機能		○		○		
	家畜の飼育 (養鶏)	○養鶏						
		ニワトリの繁殖の生理	○			○		
		ニワトリの消化器官	○			○		
	飼育・管理の 基礎	飼養管理の方法③	○	○	○	○		
		堆肥作り	○	○	○	○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現

c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。